

まちのきこり人育成講座「きこりコース」

第8回活動報告

作成 大河内 信行 2011年10月2日(日)

1. 開催場所 : 県民の森ふれあいの館 および 生産の森
2. 開催日 : 2011年10月2日(日) 午前9:00~15:00
3. 会 員 : 大河内、大石、松永、高崎、瀧口、蒲田、岡島
講座参加者: 7名

4. 内容

まずふれあいの館にて、本日の講座内容を簡単に説明し、その後生産の森へ移動。

今回の講座内容は、チルホールを使った間伐とロープウインチを使った集材。

最初に講師陣によるチルホールを使った伐倒を2本実演した。参加者にとっては座学による説明よりも、実際に見ることにより作業全体の流れをまず理解することが出来たと思われる。もちろん実演中は、それぞれの動作について説明をしながら行った。

その後、2つの班に別れて、1班は午前の間伐、午後に集材、2班はその反対の順番で講座が始まった。

午前の2班は、ロープウインチを使った集材の講座であったが、最初に伐倒した2本を造材、枝払いをしてから集材を行った。講座は順調に進み、軽トラへの積み込み、運搬まで行うことが出来た。1班は、参加者4人でまず間伐対象の選木をし、その後1人ずつチルホールによる伐倒をチェーンソーにて行った。

午後は、各班の講座内容を入れ替えて行った。

講座全体を見て感じたところは、さすがに第8回目の講座ともなると、参加者は山の作業に慣れてきているということ。チェーンソーによる伐倒においては、2回目ということもあり落ち着いて操作されていました。もちろん1人で安心して任せられるレベルではないものの、消危険な操作をして講師に制止されるということは、ほとんど無かったと思います。これも参加者の皆さんの真剣に取り組むという意識の高さだと思います。

今年度は、今回の講座で終了ですが、来年度も育成講座等の機会を利用して真剣に取り組めば、よりレベルアップが図れるだろうと感じました。

—以上—

(申し訳ありません。今回は写真がありません。)